

## 【廃寺は語る！よみがえる仏教文化事業学習指導案】

令和3年6月17日（木）5校時 14:00～14:45

南大隅町立佐多小学校6年生8名

鹿児島県立埋蔵文化財センター

上浦・福蘭・湯場崎・尾川（縄文の森）

### 1 5校時指導案

#### (1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史に果たした先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

#### (2) 実際

課程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ 地域の歴史や遺跡，文化財を知ろう。	10	○ 埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
展開	3 縄文時代の長さを実感する。 4 鹿児島を代表する上野原遺跡について知る。 5 発掘調査の成果を通してわかった縄文時代の生活について知る。 6 佐多地区にある大泊貝塚を紹介する。 7 実際の土器や石器に触れてみる。	5 5 5 5 10	○ 縄文時代から、現代までの長さを体感させる。 ○ パワーポイントを使い、上野原遺跡の紹介をする。 ○ パワーポイントを使って縄文時代の暮らしについて説明する。 ○ 発掘調査で発見された縄文土器に触れてみる。	○ 年表 1年1mm遡る年表 ○ 縄文時代早期の土器（レプリカ） ○ 大泊貝塚の実物の土器片を用意する。 ○ 埋文キットから、触れる土器・石器を用意する。
終末	8 佐多にある文化財を紹介する。 9 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な背景や先人たちの暮らしについて考える。	5	○ 佐多には天然記念物や国指定史跡の佐多旧薬園があることを知る。 ○ 5000年以上前から、自分たちの住む地域には人々が暮らしていて、連綿と人々の生活が営まれてきたこと知る。 ○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

#### (3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史に果たした先人たちの働きについて理解できたか。

## 【廃寺は語る！よみがえる仏教文化事業学習指導案】

令和3年6月17日（木）6校時 15:00～15:45

南大隅町立佐多小学校5・6年生 14名

鹿児島県立埋蔵文化財センター

上浦・福藪・湯場崎・尾川（縄文の森）

### 1 6校時指導案

#### (1) 目標

火起こし体験をすることにより、縄文時代の暮らしぶりを知り、地元にある遺跡・文化財により深く興味・関心をもつようにする。

#### (2) 実際

課 程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導 入	1 体験活動の概要及び注意事項を聞く。 2 1人ずつ火起こしの道具を使い、活動に入る。		○ 諸注意事項を簡潔に説明する。 ○ 火を起こすのでやけど等に気をつける。	
展 開	3 火起こし体験をする。  ・ 火起こしの実際を見て、学習する。 ・ 説明を聞いたら、火起こしを行う。		○ 安全面に気をつけ、事故のないように配慮する。	○ 火起こし体験セット（14セット） ○ 水を入れたバケツ等を準備する。
終 末	4 上野原縄文の森について話を聞く。		○ 縄文の森で行われているイベントなどの紹介をする。	

#### (3) 評価

- ・ 積極的に体験活動に参加し、興味・関心をもって取り組むことができたか。